

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、先々週からの底堅い流れを引き継いで、それなりに堅調な展開の一週間であった。4月28日は大手行の0.065%ビッドが支えとなり、無担保コールO/N加重平均は0.067%となった。30日、5月1日は大手行がビッドを0.06%に下げたことで取り下がり展開となり、加重平均は0.065%となった。税・保険料揚げ日となる5月2日には、大手行が再び0.065%までビッドを上げたことに加え、地銀・信託業態からもビッドが見られたことで、加重平均は0.067%となった。ターム物は大手行から2W程度の調達が見られた。固定金利方式の全店共通担保資金供給オペは3M物が1日にオファーされ、落札は2,310億円と札割れになった。米ドル資金供給オペは30日に2本オファーされたが、応札は無かった。30日には日銀金融政策決定会合が行われ、市場調節方針の現状維持が全員一致で決定された。また、経済・物価情勢の展望が公表され、引き続き2015年度中に+2.0%程度の物価上昇率が達成される見通しが示された。

今週のインターバンク市場は、連休明けの銀行券還収や、多少の払いが見込まれるため、資金需給的にはやや余剰となる見通し。高水準の当座預金残高を背景に、無担保コールO/N平均レートは0.065%程度で推移しよう。

2. オープン市場

先週の短国市場は、週を通して足元金利が小高く推移する中、週初に短国買入オペが実施されたことで全般的に堅調な展開となった。4月28日には短国買入オペが前回オペ比5,000億円増額の25,000億円で実施され、緩み気味だった需給は好転した。その後は海外勢と思われる買いも入り、全体的に堅調な推移となった。そのような流れの中、5月1日に実施された3M物入札は、平均落札利回り0.0570%、最高落札利回り0.0574%と事前予想通りながらもやや強めの入札結果となった。足元金利が高止まりしているため、この水準での買いは限定的で、セカンダリーでは0.057~0.058%の出会いと小動きに終わったものの、5月2日に短国買入オペが再び25,000億円でオファーされたことで、0.056%の出会いも見られた。週末の気配は3M0.055~0.060%、1Y0.03~0.035%。需給環境が改善したことで、レートの上昇が一服した状態となっている。

先週のCP市場は、連休の谷間となり、通信、石油、電機業態等からまとまった発行があったものの、週間で4,300億円程度の発行(入札ベース)にとどまった。a-1格以上の発行レートは、基本的には0.10%を下回る水準で取引されたものの、ショートターム物は現先レートの高止まりや、連休で投資家が少なかった影響から小高い水準で取引された。

今週の短国市場は、8日に3M物、9日に6M物の入札が実施される。足元金利、オペの動向に左右される展開が当面続くであろう。CP市場は連休明けになることから、資金調達ニーズは幾分戻ることが予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で10,900億円程度の還収超見通し。財政資金は、7日のTB3M発行超過を中心に4,900億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で6,000億円程度の資金余剰を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。＜7日＞TB3M; 償還44,900億円・発行57,000億円／流動性供給; 発行3,000億円 ＜9日＞交付税特会借入; 期日10,500億円・新規10,500億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オ ペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
5/5 (月)	こどもの日							
5/6 (火)	振替休日 (みどりの日)							
5/7 (水)	3,900	△ 12,900	△ 9,000	全店共通 (固) CP買入	△ 1,300 △ 500	2,300	500	△ 8,500
5/8 (木)	4,000	4,000	8,000	短国買入 国債買入		25,000 5,100	30,100	38,100
5/9 (金)	3,000	4,000	7,000				0	7,000
週間合計	10,900	△ 4,900	6,000		△ 1,800	32,400	30,600	36,600

(注) 上表の5/7は日銀予想、5/8以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
5/5 (月)	こどもの日		4月のISM 非製造業景況指数
5/6 (火)	振替休日 (みどりの日)		3月の米貿易収支
5/7 (水)	金融政策決定会合議事要旨 (4月7,8日分8:50)		MPC (英中銀金融政策委員会, 1日目) 3月の米消費者信用残高
5/8 (木)		TB3M 57,000億円 5/12発行 10Y 24,000億円 5/12発行	MPC (英中銀金融政策委員会, 2日目) ECB定例理事会 (金融政策発表あり)
5/9 (金)	4月のマネタリーベースと日本銀行の取引 (日銀 8:50) 3月の景気動向指数速報 (内閣府 14:00)	TB6M 35,000億円 5/13発行	3月の米卸売売上高

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第526号 日本証券業協会加入